

市長賞

捕虜なりし父の手作り椰子の椀底に一文字「誠」記され

袴田毬子

【評】 「敗戦に自決寸前子が浮かび弾空に撃ちしと父話せり」という一首も詠む作者。

時を経ても尚、父の思いを詠む作者の心に惹かれました。「平和を希求する想い」は父から作者へ、確かに引き継がれていますね。手作りのお椀に「誠」という文字を記したお父様はどのような思いだったのでしょうか。

何度も何度も読み返したくなる一首です。